

## タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和 4 年 10 月 22 日（土）午後 2 時～3 時 30 分  
場 所 北野集会所（北野町内会）  
参加者 40 人



### 主な意見等

参加者 福岡新田の企業誘致、何ができるか楽しみにしていたのですが、倉庫が3つくらいで非常にながかりしました。工場であれば雇用が期待できますが、倉庫ではそれほど期待できません。どのくらい雇用があるのでしょうか。

市 長 民間の開発により流通業の倉庫ができる予定です。立地的には製造業の工場より流通業の倉庫の進出が期待されています。雇用に関しては、把握している限りでは700～800名の雇用が生まれると聞いています。ご指摘の製造業の場合、最近ではオートメーション化が進み、それほど雇用については期待できないそうです。ららぽーとなどの物販を期待する声もありましたが、近隣の状況から商圏的に誘致が難しい状況でした。税金に関しては、もともと田んぼが中心だったこともあり、ほとんどありませんでしたので、市税で5億くらいの増収が見込まれています。

参加者 企業誘致やゼロカーボンシティの話がありましたが、CO2を大量発生させるような企業は誘致してもらいたくないです。

市 長 開発を進めているエリア内の緑地の確保であったり、近隣の水害対策

に効果がある施設にしようということで進めています。また、それぞれの企業に対しても環境対策への依頼をしています。

参加者 コロナに関してですが、年齢的なこともあり、インターネットで情報収集するのは難しいので、何人感染したとかなかなか情報が入ってきません。

市長 市町村では、媒体は広報紙か公式ホームページ、あるいは市内に設置している広報板に限られます。高齢の方ですと、ホームページは使いづらいという方もいるかと思いますが、我々としては皆さんに不安を与えたくない、分かっている限りの情報をお伝えしたいと考えています。これまで、緊急事態宣言の際や基本的な対策をお願いするポスターを作成して、広報板や商店街、お店などをお願いして掲示しました。広報紙については、これまでワクチン情報を2ページ目に掲載してきました。これからも継続して分かりやすい伝え方を検討していきたいと思っています。

参加者 災害について、いつ大規模災害が起こるか分からないので、情報発信をしっかりとしてもらいたいです。

市長 災害対策については、全市的な防災訓練はコロナでなかなか実施できない状況ですが、そのような中でも市役所、防災関係機関については、災害対策本部を設置し、実戦さながらに訓練してきました。今年度は、可能な方には参加いただき、11月に訓練を実施する予定です。また、埼玉県との合同の会議を行ったり、熊谷地方気象台とは、災害時のホットラインを結んだりしています。万が一に備え、私が県外に出張するときは衛星携帯電話を持って行っていますし、副市長と私が同時に県外に出張することがないようにしています。職員については、夜中や、電車が止まった場合に備え、徒歩や自転車での参集訓練も行っています。想定外ということがないように日々災害対応に取り組んでいるところです。

参加者 毎朝、中央公園でのラジオ体操に参加しています。コロナで数か月中止になっていましたが、再開後、これまでは気にしていなかったので

すが、ゴミが目につくようになり、昨年の4月からゴミ掃除をするようにしました。ゴミを見ると、冬寒い中、公園でお弁当を食べている人がいたりして、困っている人にも光を当てないといけないのではと感じます。ゴミ掃除に対して「いくらもらっているのか」とか、「人の仕事を取っている」とかいやなことを言われたこともあります。多くて拾い切れなかったり、私が拾った後にまた捨てられたゴミを昼間、公園の掃除をする人がきれいにしてくれていたのですが、今年の4月頃から掃除をする会社が変わったのか分かりませんが、ゴミがたまるようになりました。私は自主的にやっているにも関わらず「ゴミが残っている」と言われるようになり、自分のストレスがたまってしまうので、6月いっぱいゴミ拾いをやめました。日中の清掃はどうなっているのでしょうか。ゴミはベンチの周り、植え込みの中にあるので、そういう場所もよく見てきれいにしてほしいです。また、コロナで食べられない人もいるようだから何とかしてあげてほしいです。

市長 すばらしい行動に感謝を申し上げたいのと、それに対して心無い状況があったことに申し訳ない気持ちです。本来であればゴミを発生させないようにするのが一番だと思いますが、公園の担当も見回りを行っていますし、清掃する者に対するチェックも行っています。本日このようなご意見をいただきましたので、さらに徹底していきたいと思います。さらに西中央公園の付近、ココネ広場で夜間、飲酒をして、大声を出している方々がいます。条例等で飲酒をできないような規制を設けて、周りに危害を加えるような状況を警察が取り締まれるような体制に変えていきたいと考えています。駅周辺をきれいな状況にしたいというのは市民の皆さんの願いでもあると思います。またコロナで困っていらっしゃる人がいるということで、そのような方が市に相談にいらっしゃったときは、最低限食べるものに困るような状況にはならないように支援していきたいと考えています。

参加者 生産緑地についてですが、北野二丁目にも生産緑地管理第6号というのがあります。何年前に生産緑地2022問題がテレビでも話題になりました。今年が当該年度ですが、最近は話に出なくなりました。調べたところ、10年単位で申請すれば期限が10年延びるそうです。生産緑地として指定を受けるには、最低限農業の体を成していなけれ

ばだめだと思うのですが、北野二丁目にある生産緑地は20年以上雑草だけですが、なぜ税制上の優遇を受けているのでしょうか。国交省のガイドラインを見ても、耕作放棄をしてはならないとあります。12月2日に効力を発生するという公示がされていますが、きちんとした対応をしてほしいと思います。特定生産緑地のリストに載っています。30年くらい前は一角でさつまいもを育てていたが、20年以上は何も育てていません。

市長 今がまさに特定生産緑地への手続きを終えたところで、区切りの年ですが、これまでの管理は望ましくない状況だったのかもしれませんが、今後土地活用を考えておられるのかもしれませんが、私自身一つ一つの案件を承知しているわけではありませんので、ご意見については担当課に伝えます。制度の移行時期以前も1、2年生産されていないような時期があったような事例もありますので、農業委員会と市でどのような事由があるのかは調査をかけさせていただきたいと思います。情報提供ありがとうございました。

参加者 集会所の目の前の道路の話です。くねくね曲がっていてアップダウンのある道路ですが、もともとは北野町内会の生活道路的な意味合いがありましたし、元福小学校と葦原中学校の通学路にもなっています。かつてはそれほどでもなかったのですが、イオンタウンができてからは、川越に抜ける裏道のような道路になってしまい、非常に交通量が増えました。特に子供たちの登下校の時間は、増えた感があります。30キロの制限はありますが、下りになっていることもあり、子供たちが通学するそばをけっこうなスピードで車がすり抜けます。事故が起きてからでは遅いです。赤と白のポールを危険な箇所につけてもらうとか対策を取ってもらいたいと思います。

市長 4年前にも元福小学校前の工事を実施していたことから同様の意見をいただきました。交通量については、イオンタウンの建設の影響も若干はあるとは思いますが、建設前と後で大幅な変化はないという状況のようです。一方通行であるということもあり、余計にスピードが上がっているという実態もあります。我々も課題として認識していますので、今後どのような対策がとれるかは検討していきたいと思います。

- 参加者 県道の開かずの踏切の立体交差は話が頓挫しているのでしょうか。
- 市長 合併前に地下道を作ろうという構想があり、一部先行して土地の買収も行っていましたが、合併後、費用対効果など様々な検証を行った結果、やらないということで決定されました。
- 参加者 県道の拡幅はしているようですが、立体交差とは関係ないのでしょうか。抜け道として使われて、先程の市道の話にもつながってくると思います。
- 市長 歩道の拡幅はしていますが、立体交差はありません。平成21年秋に中止の判断をしましたが、当時のお金で64億円かかるという事業でした。
- 参加者 先ほどの説明で地域力が大切という部分にもっともだなと思って聞いていました。地域力を活性化するためには、町内会など子育て世代が出てこられるような環境にならないといけないと感じています。子育て世代であるとともに働き盛りでもあるので、なかなか日中は出てこられないというのも分かるのですが、何か行事があったときには出てきてもらえるような環境を日頃からつくっていくことが大切だと考えています。こどもの未来を育む条例を活用するなどして、子どもたちの夢とか未来につながるような行事をつくってあげられないかと思いました。自治組織を活性化するいい事例がありましたら教えていただきたいです。
- 市長 町内会の行事に若い世代がなかなか参加していただけないというのはどこも同様なようで、役員も多忙を理由に断る方が多いようです。こちらで餅つきに顔を出させてもらったことがあります。私自身は、近所の大人が一生懸命何かに取り組んでいる姿を子どもたちに見せるのは素晴らしいことだと考えています。親御さんたちも忙しいかもしれませんが、何とか都合をつけてもらって参加していただきたいと思っています。いい事例ということですが、新しく開発された住宅地で、小学生や未就学の子どもが多くいる地域があって、行事の数は少ないそ

うですが「夏祭りだけはやろう」ということになっていて、かなりの数の人が参加していました。商工会の青年部で私が部長をしていた時、業種は違いますが、「1年に1回、産業まつりだけは全員参加」ということにしていました。上野台小学校のおやじの会もやってきた経験がありますが、自分たちの子どものためだけでなく、地域のためにみんなで力を合わせようということでやってきました。ボランティアということでは、東日本大震災で避難されてきた方のためにおあがんなんしょという活動の事例もあります。町内会でも餅つきを再開したところもあります。その場で食べるのはできないので、持ち帰りという形にしているそうです。地域に住んでいる者同士一緒に何かできるのはいいよねという関係が作り出せると、次の世代にもつないでいけるのではないかと思います。

私は、就任以来、地域力ということを言い続けてきました。防災の会議、防犯の会議、回覧板もたくさんあるとやりきれないと言われてしましますが、市役所から何かをお願いするということではありません。道路や公民館は市役所のものという感覚がある方が多いと思いますが、皆さんの税金で作って運営しているわけですから、市民の皆さんの財産なんです。タウンミーティングをしているのは、皆さんの税金の使い道、このまちをどうしていくか、皆さんのご意見をもとに進めていきたいと考えているからです。財政的に厳しく、将来的に人口も減っていく中、高齢者や身体の不自由な方を支える若い世代の負担は今以上に増えていくことが予想されますが、それを少しでも少なくしていくようなまちづくりが必要だと考えています。雪かきと同じで、みんなが家の前を少しずつやっていけばつながる、参加が難しい方がいたら助け合うという、隣近所のつながりが大事だと思います。

参加者 北野集会所の運営の話です。各自治会の集会所は、東地域は、自治会が運営し、西地域は公民館の分館という位置付けで、違いがあります。以前のタウンミーティングでそれを均一化しようとしているという話がありました。北野集会所は、建ててから間もなく40年を迎えます。トイレの改修などだましまし使っていて、そろそろ建て替えの時期が迫っているような状況です。いつ均一化されるのか調整はどこまで進んでいるのでしょうか。

市長 私は、ふじみ野市としてこの問題が一番大きな課題といってもいいのではないかと考えています。西地域にも、自治会で補助金を活用して集会施設を建て自分たちで運営しているところもありますし、東地域でもマンション内の共有施設を集会施設として使っているところもあるので、補助制度を変更しました。合併当初から言われてきたことですが、西地域は、公民館の分館を集会施設として使用していますが、自治会ごとに集会施設があるわけではありません。ただし、運営の面で言うと、分館を使っているので費用はかかっていません。それで合併後、光熱水費の補助額が上がっていますし、私が市長に就任してからも上げました。しかし、これは不公平感を軽減しているだけに過ぎないので制度を統一していくべきと考えています。進捗に関するご質問ですが、集会施設のあり方について、3年くらい前に準備会を立ち上げ、自治組織連合会の歴代の会長さん、副会長さんを集めて準備をしてきました。そして一昨年から今年にかけて審議会を開き、先週答申をもらったところです。その中には、建物は市に移管し、市の財産として財政的な負担は市が持ち、運営は自治会の皆さんにお願いしようという付帯意見がありました。そこまでもっていくにはまだ時間がかかると思いますが、建てて間もないところもありますので、移行期間も考える必要があります。以前のように寄付金を集めて建て替えは難しくなっていることからそのように変えていきたいというものです。いつからということは申し上げられないですが、以上が現在の状況です。